

登録コード	HM128300	開講年度	2026			
授業題目	診断病理学特論				担当教員	上原 剛 他
英文授業名	Surgical Pathology				副担当	岩谷 舞
単位数	2	講義期間	通年	曜日・時限	集中・不定期	対象学生
講義室			授業形態	講義	備考	
信大コンピテンシー	非該当					
(1)授業の達成目標/course objectives	ディプロマポリシー・授業で得られる「学位授与の方針」要素				(授業の達成目標)	
	2026HM医学分野加, 2025HM医学分野加, 2024HM医学分野加, 2023HM医学分野加					
	【研究科共通_2024年度以前加付対象】専門分野以外の課題を見渡し自身の研究課題の社会的意義を再認識する俯瞰力				診断病理の臨床医学での役割が理解でき説明できるようになる。診断病理を行うための方法や種類について理解し説明できるようになる。	
	2026HM医学分野加, 2025HM医学分野加					
	【専攻】医学または保健学の研究に対する世界標準の専門分野における深い知識・卓越した技能				診断病理学に関する専門的知識と技能を習得し、実践できるようになる。	
(2)詳細 /Detailed information	診断病理の臨床医学での役割が理解でき説明できるようになる。診断病理を行うための方法や種類について理解し説明できるようになる。					
(3)授業の概要 /Overview of course	病理診断, 術中迅速診断, 臨床細胞学, 病理解剖の各項について順次学ぶ。					
(4)授業計画 /Course plan	(オムニバス方式) (上原剛/8回) 医学論文の診断病理の症例報告の中から、非腫瘍性で典型的なものを選択し、抄読会形式で授業を行い、診断病理の実践方法を中心に疾患のメカニズム等について学ぶ。 (岩谷舞/7回) 医学論文の診断病理の症例報告の中から、腫瘍性で典型的なものを選択し、抄読会形式で授業を行い、診断病理の実践方法を中心に疾患のメカニズム等について学ぶ。					
(5)成績評価の方法・基準 /Grading/evaluation method/evaluation criteria	レポート評価 (i) 問題の設定が適切であり, (ii) その問題の背景を説明できており, (iii) その問題にどのような課題があるのかを指摘できており, (iv) それらの課題に対して既存の学説が提示する解決法が適切に把握できており, (v) その上で自分の見解を提示できており, かつ, 教員を感心させるレベルにあれば「卓越している(秀)」。(i) から (v)の5項目を満たしていれば「かなり上にある(優)」。4項目までできていれば「やや上にある(良)」。3項目までできていれば「水準にある(可)」。					
(6)履修上の注意 ・事前事後学習 の内容・テキスト・教材・参考 書/Notes/Prep and review work/Textbook(s)/ Reference work(s)	特になし					
(7)質問,相談への 対応/Questions and requests for advice	随時可					
(8)授業の形式 /Course format	座学					